

令和元年 7 月 1 日

隠岐支庁農林局農政・普及部

標 題 海士町で集落営農意見交換会を開催

(ダイジェスト)

海士町では、農家の高齢化などの問題により、地元農家から「集落での取り組みにより水田を維持していくべき」との声が上がっています。この流れを受けて、6月22日(土)に農事組合法人すがや組合長の錦織氏を講師として、集落営農の意見交換会が開催されました。

海士町の水田営農では、水田の約半数が8つの担い手(認定農業者)に集積されている中、高齢化が進んでいるため、地元農家からは集落での取り組みによって水田を維持していくべきとの声も上がっています。

そこで、令和元年6月22日(土)に、海士町開発センターにおいて集落営農意見交換会が開催されました。講師は農事組合法人すがや組合長の錦織氏で、海士町唯一の農事組合法人サンライズうづかとの親交が深いことから実現しました。講演では、ご自身の経験談を踏まえ、集落営農のメリットや苦勞したことなどを語っていただきました。

講演のほか、農業経営課から集落営農についての情報提供や、雲南市からは集落営農設立に対する支援の取り組みについても紹介があり、様々な情報交換がされる会になりました。参加した農家全員が熱心に話を聞いており、今後の法人設立などのビジョン検討の参考になったと感じました。

普及部としては、海士町水田営農のさらなる振興のため、地元農家や役場、JA等関係機関と連携しながら、サンライズうづかに続く第二、第三の集落営農組織設立へ向けて支援していきます。



講演された錦織氏



意見交換会の様子